



JAZZ の黄金時代

60年代のブルーノート



担当 鈴木道郎

1960年代のジャズ界はハードバップからポストバップへの移行期であり、多様性と革新に満ち、アーティストたちの自由な音楽的探求が際立っている時代でした。ハードバップが成熟し、モードジャズが発展、フリージャズが台頭しました。ボサノヴァの影響や、ファンキージャズの誕生も特徴です。さらにマイルスデイヴィスの後期の作品に見られるように、ロックの要素を取り入れる動きが始まりました。この時期のブルーノートの作品は、リズムの多様性、複雑なハーモニー、そして即興演奏の自由度が高いことが特徴です。

本日は60年代に発表されたブルーノートの名盤の中から(4100番台以降)、その時代の最先頭のジャズを記録した7曲を選び、LPにて楽しんで頂きます。

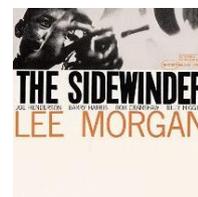
■ Lee Morgan (The Sidewinder / BLP 4157)

1. The Sidewinder 10:25

Lee Morgan(tp), Joe Henderson(ts), Barry Harris(p), Bob Cranshaw(b), Billy Higgins(ds) Van Gelder Studio, 1963

・ファンキーな8ビートとニューオーリンズ R&B の影響を感じるジャズ・ロック調。

リー・モーガンの力強いトランペットとジョー・ヘンダーソンのテナーサクスが特徴的



■ Herbie Hancock (Maiden Voyage/ BLP 4195)

2. Dolphin Dance 9:16

Freddie Hubbard(tp), George Coleman(ts), Herbie Hancock(p), Ron Carter(b), Anthony Williams(ds) Van Gelder Studio, 1965

・海をコンセプトとしたアルバムの一曲で、モード奏法を基盤とした洗練されたハーモニーとリリカルなメロディが特徴

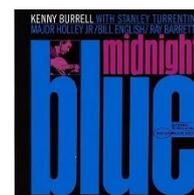


■ Kenny Burrell (Midnight Blue/ BLP4123)

3. Midnight Blue 4:00

Stanley Turrentine(ts), Kenny Burrell(g), Major Holley Jr. (b), Bill English(ds), Ray Barretto(congas), Van Gelder Studio, 1963

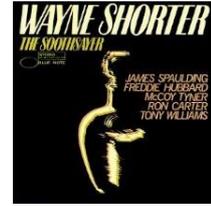
・温かみのあるギターとピアノレスの編成。日が暮れた後の雰囲気イメージした哀愁漂うブルース・フィーリングが特徴。



■ Wayne Shorter (Soothsayer/ BLP)

4. *The Big Push* 8:28

Freddie Hubbard(tp), Wayne Shorter (ts), James Spaulding (as),
McCoy Tyner (p), Ron Carter (b), Tony Williams (ds) Van Gelder
Studio, 1965

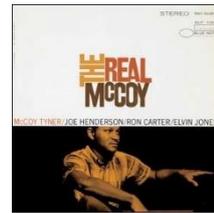


・ショーターの作曲能力が光るこの曲は、ポストバップの複雑な構成と緊張感あふれる演奏が特徴。ハバードやタイナーとのインタープレイが聴きどころ。

■ McCoy Tyner (The Real McCoy/BLP 4264)

5. *Four By Five* 6:37

Joe Henderson(ts), McCoy Tyner (p), Ron Carter(b), Elvin Jones(ds),
Van Gelder Studio, 1967

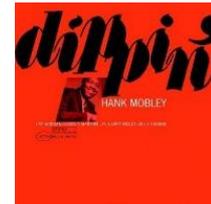


・シンプルな構造ながらも緻密なアンサンブルと個性的な演奏が魅力

■ Hank Mobley (Dippin'/BLP 4209)

6. *Recado Bossa Nova* 8:11

Lee Morgan(tp), Hank Mobley(ts), Harold Mabern(p),
Larry Ridley(bs), Billy Higgins(ds), Van Gelder Studio, 1965



・ボサノバリズムを取り入れた楽曲。ハンク・モブリーのメロディセンスとリー・モーガンのトランペットがダイナミックに融合。

■ Freddie Hubbard (Hub-Tones/BLP 4115)

7. *You're My Everything* 6:36

Freddie Hubbard(tp), James Spaulding(as, flute), Herbie Hancock(p),
Reginald Workman(b), Clifford Jarvis(ds), Van Gelder Studio, 1962



・ハバードの感情豊かなトランペットとハンコックの繊細なピアノが調和。ジェームズ・スポールディングのフルートが彩りを添える

(計 53 分)